

## 平成30年度事業計画

### 1 基本方針

我が国においては、既に4人に1人が65歳以上の高齢者という超高齢社会を迎えており、2065年には約2.6人に1人が65歳以上、約4人に1人が75歳以上となる高齢者の時代を迎え、人口も9,000万人を割ると見込まれています。このような少子高齢化は労働人口の減少につながることから、その受け皿として意欲と能力のある高齢者が、年齢に関わりなく活躍できる社会の実現が求められています。5年ごとに内閣府が実施する「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成25年度)によると、国内の高齢者の就労意識は高く、65歳を超えても働きたいと回答した者は約66%を占めており、年齢が高くなるほど、仕事を続けたいという想いが高くなる傾向にあります。

また、人口構造の急速な変化は、地域コミュニティ機能の低下を招くことが危惧されることから、シルバー人材センター事業が、従来からの清掃、草刈、除草等の軽作業群並びに植木剪定、襖・障子貼り等の技能群の職域にとどまらず、人手不足分野や育児支援等の現役世代を支える分野においても就業を提供することで地域社会の活性化に貢献していくことが求められています。

その一方で、シルバー人材センターにおける新規入会会員数は、近年全国的に減少傾向が続いております。これは飯能市においても例外ではありません。この原因として、現在の飯能市シルバー人材センターにおける代表的な就業であり、多くの需要がある草刈、除草、植木剪定等の屋外軽作業が、就労意欲のある高齢者の就業希望と合致していないこともひとつの要因として挙げられます。

このような中で、飯能市シルバー人材センターでは就労意欲のある高齢者が長年培ってきた知識や経験を活かす就業先の開拓をすることはもちろん、多くの需要がある草刈、除草、植木剪定等の屋外軽作業について講習等を開催し、就業会員を増やす努力をしていきます。

併せて、今年度は中長期計画を策定し、今まで以上に将来を見据えた効率的な事業展開を図るとともに、より一層の顧客満足の向上を目指して経営努力に取り組んでまいります。

## 2 事業計画

### 【重点項目】

#### (1) 就業機会の確保と創出

民間事業所等からの就業機会拡大に努め、就労意欲のある会員が希望する職域の就業先の獲得及び現在就業している事業所に「プラス1人就業」の呼びかけを行い、既存の受注先の就業拡大を目指します。

- ・就業先の新規開拓 10件
- ・就業先訪問の実施 30件

#### (2) 未収金の回収強化

納期限を過ぎた未収金については、電話、訪問、督促状、催告書により早期回収を徹底するとともに、支払方法として先払いを導入する等、滞納を未然に防ぐための方法を整備します。

- ・契約金額に対する収納率 99%

#### (3) 中長期計画の策定

会員の増強、就業機会の拡大並びに自立的な運営基盤の強化を基本に、今後の社会情勢の変化などを勘案し、飯能市シルバー人材センターの目指す方向とその役割を見極めた事業を展開していくため、今後の経営方針を定めた中長期計画を策定します。

### 【推進項目】

#### (1) 会員の増強

組織基盤の安定のためには会員の増強が最重要であり、会員及び役員が協力し、さまざまな就業分野の人材をはじめ地域社会のニーズに応えるため、会員の確保に努めます。

- ・会員の拡大（目標会員数400人）
- ・女性会員の入会促進（目標会員数100人）
- ・市広報の活用（年2回）

#### (2) 安全就業の推進

安全就業に関する情報の収集及び会員への提供を積極的に行うとともに、器具の使用前点検の実施、高所作業におけるヘルメットの着用及び刈払作業時の飛散防止等を徹底し、事故「0」を目指した安全就業の推進に取り組みます。

(3) 研修会・講習会の開催

各種研修会、講習会、センターだより等、あらゆる機会をとらえて、会員の意識を高め、技能の向上と地域社会で働くのに相応した人材づくりに努めます。

- ・刈払機取扱安全講習の実施
- ・植木剪定技術講習の実施
- ・交通安全講習の実施

(4) 未就業会員への積極的な就業紹介

未就業会員を対象とした就業相談及び就業情報の提供等を随時行い、会員の希望に沿った就業を紹介する他、受注の多い仕事等への希望職種の転換を勧め、就業の機会を提供します。

- ・就業相談の実施及び就業情報の提供

(5) 事務局体制の強化

公益社団法人としての社会的役割と責任を認識し、法令順守の観点から、法人組織として適切な事業運営を行います。

- ・業務システムの積極的活用
- ・ファイルを活用した文書管理方法の導入